

柳川の食を盛り上げたい



▲やながわ食の学校をメインに活動

◀地元農産物を早速調理

9月1日から柳川市地域おこし協力隊になりました、齊藤千絵です。水産振興課に所属し、やながわ食の学校の運営をメインに活動します。

柳川市に来る前は、東京の出版社で料理雑誌やレシピ本を出す編集部にも所属していました。料理人や料理家が考案したレシピと向き合っている中で、食材をおいしくするアイデアや調理法の多さと面白さを知り、それを読者へ伝えられることにやりがいを感じていました。料理教室運営にも携わっていたので、いずれは自分でワークショップや料理教室を運営してみたいと思っていたところ、柳川市地域おこし協力隊の募集を知りました。食と人とをつなぐコーディネーターとしての募集で、私が今までやってきたことを生かすことができ、私自身も成長できる環境だと感じ応募するに至りました。

柳川市のイメージはうなぎめしと川下りでした。実際に住んでみて、農作物と水産物の豊かさに驚いています。水産振興課所属ということもあり、特に柳川産海苔については学ぶことが多く、そのおいしさと面白さに日々感動しています（毎日海苔を食べて勉強中です）。まだまだ学ぶことばかりですが、やながわ食の学校を通じて皆さんと一緒に柳川の食を盛り上げていけるよう頑張ります。



齊藤 千絵 (32歳)

【プロフィール】市水産振興課に所属。食と人材づくりのコーディネーターを担当